

妥当性評価意見書

2015年3月24日

株式会社学研ホールディングス 様

一般社団法人日本能率協会
地球温暖化対策センター



1. 妥当性評価の対象及び目的

一般社団法人日本能率協会地球温暖化対策センター（以下「当協会」という。）は、株式会社学研ホールディングス（以下「事業者」という。）が「学研グループ 在庫処分廃棄物量算定手順書（第4版）」（以下「算定手順」という。）に基づき作成した「第69期（2013年10月1日～2014年9月30日）学研グループ 在庫処分廃棄物量 算定結果 Ver.2」（以下「算定報告書」という。）に記載された在庫処分廃棄物量の算定について妥当性評価を実施した。算定報告書を作成し在庫処分廃棄物量を報告する責任は事業者にあり、当協会は、事業者が作成した算定手順により実施された算定に関して、独立の立場から妥当性評価を実施することにある。

2. 評価手続き

妥当性評価をするにあたり、以下の事項を実施した。

- 算定手順、算定報告書、関連情報のレビュー
- 算定報告書の作成に関わる主な担当者へのインタビュー

当協会は、「JIS Q 14064-3:温室効果ガス-第3部:温室効果ガスに関する主張の妥当性確認及び検証のための仕様並びに手引」を参考にして在庫処分廃棄物量算定の妥当性評価を行った。

3. 妥当性評価意見

事業者が作成した算定報告書は、算定手順に従って作成され、重要な点において正確に算定されていないと認められるような事項は発見されなかった。

4. 推奨事項

算定報告書の正確性、信頼性をより向上するためには算定手順の定期的な見直し、及び、算定の誤りを防ぐための手続きの構築をすることが望まれる。

以上